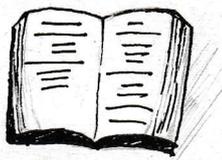


# タイトル『小説の神様』

著者：相沢沙呼 出版社：タイガ

「僕は小説の主人公になり得ない人間だ。」  
学生で小説家デビューを志した千谷一也。  
しかし小説家デビューしたものの  
自分の小説が全く売れず悔しい日々をみく  
ていた。ある日一也を担当している編集者の  
人から、同年の人気作家・小糸綾詩風との  
合作小説の話がもたらがた。断ったものの  
編集者エムの強い意志により組むことにな  
二人。

その後の二人の糸舌末は、  
読みた方はぜひ読んで  
みて下さい！



投稿日 年 月 日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

年齢

Ne

14

仙台市 市民 図書館 YAコーナ